

はにい

ぼくたちの学校

平成28年12月7日

小学校1年生の生活科の授業、開始10分前。子どもたちは、すでに着席している。今日は、研究授業のため、たくさんの先生方に囲まれている。

「授業が始まるまで、時間があるから何をしようか」と担任が声をかける。

「伝言ゲームがいい」

「全員でゲームするの？」

「そうだよ」

「いいね」と伝言ゲームが始まった。しかし最後まで続かない。

次にみんなで何をしようかと考えていると、

「ここにいる人たちに、ぼくたちの学校を案内しようよ」と元気な声。

「いいね」

「そうしようよ」

と賛成の声が、あちこちから聞こえてくる。

「でも私たちまだ1年生だから、学校のこと全部知らないよ」という意見に、

「大丈夫だよ。ぼくたち1学期に学校探検したじゃん」

「そうだよ」と身を乗り出している。



担任が「みんな、学校のことそんなに知ってるの？」と問いかけると、「知ってるよ」と自信に満ちた返事。とうとう自分たちで多数決を取り始めた。

「学校案内したい人」

「ハイ」

ほぼ全員の手が挙がる。その手はまっすぐ伸びている。

入学して半年、すっかり「自分たちの学校」になった。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合しましょう。

ご意見・ご感想は → inochi4027@pref.kanagawa.jp